

明日に向かつて

ともに創る

101

大船渡市長 戸田公明

新型コロナウイルス感染症対策で

見えてきた次の社会

広報大船渡4月号・6月号では新型コロナウイルス感染症対策などについて、種々情報を提供いたしましたし、連日の報道からは新たな知識なども得てきました。5月25日までは全国の緊急事態宣言が解除され、新しい生活様式の定着を図りながら、経済・社会活動は少しずつ元に戻りつつあります。

パンデミックにより、多くの新しい取り組みが始まり、それが世の中を変える契機にもなるとの報道も繰り返されまされた。新たな取り組みとして始まった代表例としては、

- ・テレワーク
- ・テレビ会議、オンライン学習
- ・オンライン診療
- ・スマートフォンによる感染者との接触情報通知(接触アプリ)
- ・10万円申請では無力であったマイナンバーカードの銀行口座の紐付け(国が検討中)
- ・海外参考事例としては、インターネット申請後2日間で助成金が入金されたドイツの

カード、支給スピードが速い銀行口座と紐付いたアメリカの社会保障番号

などのような取り組みが急速に広まっており、今後、世の中を大きく変えるデジタル社会への変化と、大都会から地方への人の流れが起きているのではないかと予感が生まれてきました。

参考として、歴史上パンデミックにより世の中が大きく変わった例を紹介します。

①ペスト 14世紀にヨーロッパで大流行したペストの起源は中央アジアであったとされていますが、モンゴル帝国の西進、商船による黒海沿岸とヨーロッパの交易などにより伝わり、人口の3分の1が亡くなったとされています。農民の激減を通じて領土の力が落ち始め、さらにはペストの脅威を防げなかった教皇・教会の権威も落ちていきます。やがて中世封建制度から近代主権国家誕生へと変わり、大航海時代、ルネッサンスなどに繋がりました。

②天然痘 大航海時代、法王裁定により大西洋上に南北に引かれた線の東側にはポルトガルが、西側にはスペインが進出することになりました。当時、米大陸には天然痘は無く、先住民にはその免疫がありませんでした。中南米に進出したスペイン人(以前の流行により免疫があった)により天然痘が伝染され、多くの先住民が感染・死亡するにつれ、アステカ帝国とインカ帝国が滅亡し、スペインの領地になりました(スペイン語圏)。

③コレラ 19世紀、ヨーロッパとアジアの交易を通じて、ガングジス川流域の風土病コレラがヨーロッパ・アジアなど各地に伝染しました。コレラ禍からの復興では公衆衛生の向上が求められ、特にもパリでは上下水道の整備とともに都市の大改造が行われ、現在の街並みに繋がりました。同時期のドイツではコッホによる結核菌・コレラ菌の発見とともに、感染症についての研究が大きく進展しました。このように、歴史的にもパンデミックは世界を大きく変える契機になりました。我々は、今その始まったばかりの渦中におります。変化に遅れないよう、日々努めてまいりましょう。

中小企業事業継続支援金の対象業種を拡大しました

新型コロナウイルス感染症の影響で売上げが減少した事業者に対する、中小企業事業継続支援金の交付対象業種を拡大しました。

▷対象＝市内に主たる事業所を有する事業者(法人・個人)

▷追加業種＝鉱業・採石業・砂利採取業、建設業、情報サービス業、インターネット附随サービス業、映像・音声・文字情報制作業、保険媒介代理業、不動産業(※)、物品賃貸業、デザイン業、著述・芸術家業、経営コンサルタント業、その他の専門サービス業、広告業、土木建築サービス業、機械設計業、商品・非破壊検査業、計量証明業、写真業、その他の技術サービス業、療術業、歯科技工所、廃棄物処理業、自動車整備業、機械等修理業、その他の事業サービス業

※不動産や駐車場の貸し付けを行っている場合、個人事業税(県税)の課税対象となる条件に該当する場合に限る。

▷条件＝新型コロナウイルス感染症の影響により売上高が減少していること(3～6月のいずれか1カ月の売上高が前年同月と比較して減少していること)。

▷申請期限＝8月31日(月)(土・日・祝日を除く)

▷申請方法＝感染予防対策の観点から、原則、申請様式を市ホームページからダウンロードし、添付書類と併せ郵送ください。申請書は、本庁商工課、三陸支所、綾里・吉浜各地域振興出張所の窓口にも備え付けています。

▷補助額＝定額30万円(1回限り)

▷申請・問い合わせ先＝商工課(内線109・111)